

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年6月2日

1 事業名	スポーツ振興事業	コード	113102
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	作成者 伊藤 雅章
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	スポーツの振興
		予算科目	スポーツ振興事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市民が気軽にスポーツに親しむ機会・場所を設け、市民ひとり1スポーツの普及を図る。また、スポーツ大会や教室等を開催し、競技力の向上を図る。			
目的	対象者	市民		
	意 図	市民スポーツの振興を図る。		

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
1	スポーツ教室等 スポーツ教室（4～3月・152回・3,075人） おかや小学生体育塾（5～2月・34回・904人） ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室（10～2月・15回・208人）			
2	ファミリースポーツプログラム スポーツイベント（5～2月・11回・475人） ファミリースポーツフェスティバル（10月・1回・1,000人）			
3	スポーツ大会（主催大会） 60大会 県エースドッジボール2大会			
前年度の課題への対応	スポーツ教室については、ローラースケート教室をフットサル教室に見直し実施した。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	ファミリースポーツプログラム及び教室開催数			単位	回
	実績値	222	215	213	
	*指標の説明	ファミリースポーツプログラム及び教室の開催数（H24より変更）			
② 成果指標（指標名）	ファミリースポーツプログラム及び教室参加者数			単位	人
	目標値	6,300	6,953	6,953	6,953
	実績値	6,953	6,332	5,662	
	達成度	110.4%	91.1%	81.4%	
	*指標の説明	ファミリースポーツプログラム及び教室に参加した人数（H24より変更）			
*目標値の設定方法の説明	過去3年間における実績の最大値				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	6,062,941	10,072,943	10,480,977	11,071,000
経常経費	6,062,941	10,072,943	10,480,977	10,829,000
臨時的経費	0	0	0	242,000
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	18,800,000	18,800,000	18,800,000	18,800,000
正規職員の人数(人)	2.35	2.35	2.35	2.35
③ 合計コスト(①+②)	24,862,941	28,872,943	29,280,977	29,871,000
前年度比		116.1%	101.4%	102.0%
財源内訳				
一般財源	23,117,441	27,803,543	28,279,677	28,530,000
特定財源	1,745,500	1,069,400	1,001,300	1,341,000
* 特定財源の説明 スポーツ教室受講料				
④ 活動一単位あたりコスト	111,995	134,293	137,469	
前年度比		119.9%	102.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
スポーツ振興事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,081,000	1,081,000	1,081,000	1,081,000
19市体育担当課長及び体育担当主任会議出席負担金	件数	1	1	1	1
	金額	2,000	2,000	2,000	2,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,083,000	1,083,000	1,083,000	1,083,000
	割合	17.86%	10.75%	10.33%	9.78%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 89.4%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 81.4%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>地域の実情に即したスポーツ推進計画の策定が課題である。 社会状況の変化に伴い子どもの体力低下が全国的な課題である。</p>
	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>幸福で豊かな生活や健康長寿社会の実現に欠かすことのできないスポーツを推進するため、岡谷市スポーツ推進計画を策定する。 運動能力が一番伸びるプレゴールデンエイジと言われる小学生低学年に、遊びを通じ運動の基礎を身に付ける、子どもの体力向上事業（かがやけ おかやキッズ体力アッププログラム事業）の実施する。 ファミリースポーツプログラム・小学生体育塾・ジュニアアスリート育成事業については、ニーズ等を把握するなかで実施回数の見直しを行うとともに、ファミリースポーツフェスティバルについては廃止する。</p>
改善方法	<p>改善開始時期 平成26年4月</p>

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---